

進め！ドクター大竹の会

会報 第9号 2016年6月4日発行



2016/5/22 (日) 「田名部まさよさんを応援する集い」開催

－「安倍政権退陣」、「戦争法廃止」で 参議院選挙を闘う－

参議院選挙青森選挙区は 野党統一候補 田名部まさよさんを全面的に応援する！

2016年5月22日、青森市駅前のアウガに於いて、「田名部まさよさんを応援する集い」(主催:「進め！ドクター大竹の会」)が開かれ、50名余りが参加しました。最初に、大竹進氏が挨拶を行い、今回の参議院選挙の重要性を、ナチス強制収容所に入れられたマルチン・ニーメラー牧師の言葉(裏面参照)を引用して語り、「負ければ後戻りがきかなくなる“ポイント オブ ノーリターン”である」と語りました。続いて、参議院青森選挙区立候補予定者の田名部匡代さんが決意表明を行いました。「衆議院議員時代に障がい者に向き合ったことにより自分は政治家として育ててもらった。困っている人々の声を聴き続ける政治家でありたい。アベノミクスの恩恵を地方は全く受けていない。それを認めようもしない安倍首相は不誠実だ。現政権はあまりにも人々の声を聴かず、自分の保身に走る政治家ばかりだ。何としても安倍政権を倒し、日本の立憲主義を守らなければならない」と力強い決意を述べました。会場からの「脱原発という政策を棚上げにしても、今回田名部さんを応援している大竹の会や政党に対してはどのように思っていますか」という質問に対して、田名部さんは、「各組織や政党で政策については、それぞれの考え方はあると思う。しかし、それを棚上げしても私を応援してくださることに本当に感謝しており、また、そのことは現在がそれだけ危機的状況であるということであると思う」と答えました。

その後、古村一雄事務局長が参議院選挙での「進め！ドクター大竹の会」の闘い方について説明し、今村修共同代表が「あの戦争によって青森市も含め日本のあちこちが空襲を受けた。戦争は絶対に繰り返してはならない。そのために共闘しなければならない」と閉会の挨拶をしました。最後は会場の全員で「頑張ろう！」を三唱して締めくり、決意を新たにしました。

全員で「頑張ろう」を三唱



↑ 田名部まさよさんと握手する大竹進氏



↑ 会場からの質問を受ける田名部さんと大竹進氏



「進め！ドクター大竹の会」公式ホームページ：<http://susume-dr-otake.jp>

大竹進 公式ホームページ：<http://otake-susumu.jp>

<2016年会費納入のお願い>

郵便振替口座 02260-9-115810

年会費 1000円

＜ナチス強制収容所に入れられた

マルチン・ニーメラー牧師の言葉＞

「ナチスが共産主義者(共産主義者)を弾圧したとき、私は不安に駆られたが、自分は共産主義者ではなかったので、何の行動も起こさなかった。

その次、ナチスはソシアリスト(社会主義者、労働組合員)を弾圧した。私はさらに不安を感じたが、自分はソシアリストではなかったので、何の抗議もしなかった。

それからナチスは学生、新聞人、ユダヤ人と、順次弾圧の輪を広げていき、そのたびに私の不安は増大したが、それでも私は行動に出なかった。

ある日ついにナチスは教会を弾圧してきた。

そして私は牧師だった。

だから行動に立ち上がったが、その時は、すべてがあまりにも遅過ぎた」

「主権在民」決壊寸前
ポイント オブ ノーリターン



大竹進氏 「『ポイント オブ ノーリターン』の危機」

大竹進と「進め！ドクター大竹の会」の活動報告

第31回 4・9 反核燃の日 全国集会(2016/4/9)の集会とデモに参加

2016年4月9日、青森市の青い森公園で、反核燃の日 全国集会とデモが行われ、大竹進氏も参加いたしました。集会では「31年前の1985年4月9日に当時の青森県知事が核燃サイクル施設の受け入れを決めたが、いまだに再処理工場の本格稼働はできない。もう再処理は止めよう」という訴えがされました。その後、青森市内のデモ行進を行いました。

また、同日18時からリンクステーション青森にて開催された「福島3.11の被曝と保養」と題した学習会では、大竹進氏が、2015年末に訪れた福島県の帰還困難区域などの状況報告を行いました。今年、8月に青森市内で予定されている福島からの子供たちを受け入れる保養の意義について、話し合わせ、その実現に向けて、「進め！ドクター大竹の会」も支援を表明しています。



↑ 先頭でデモ行進に出発する大竹進氏(右)

福島の子どもたちを放射能から守るプロジェクト・青森

(略称：保養プロジェクト@あおもり)

募集要項&詳細：<http://s.ameblo.jp/hoyoaoomori/>

「福島の子どもたちを放射能から守るプロジェクト・青森」<募集要項>
2016年 夏休みに青森へ保養にいらっしやいませんか?
自然豊かな青森で、楽しいねぶた祭りを楽しんでいただけます。
私たちは、福島の子どもたちに、外で思いっきり遊んでもらいたい願い、
青森での夏の保養を下記のように企画しました！

期間・交通 2016年8月1日(月)～8月4日(木) 3泊4日
郡山市より福島経由、青森までの、往復のマイクロバスが出ます。

青森県を変えよう！大竹さんと進む私たちの会

(略称「進め！ドクター大竹の会」)

住所：〒038-1306 青森市浪岡福田2丁目13-8

Tel. 0172-62-3300 FAX：0172-69-1106

E-mail: susume.dr.otake@gmail.com

